

第6章 教員・教員組織

(1) 現状の説明

点検評価項目①：大学の理念・目的に基づき、大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。

【評価の視点】

1：大学として求める教員像の設定

・各学位課程における専門分野に関する能力、教育に対する姿勢等

2：各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針(分野構成、各教員の役割、連携のあり方、教育研究に係る責任所在の明確化等)の適切な明示

1) 大学として、「求める教員像および教員組織の編制方針」を以下のとおり定め、ホームページに明示している。「求める教員像」、「教員組織の編制方針」、「教員の募集・採用・昇格方針」、「教員の資質向上に関する方針」の項目でそれぞれ纏めている。

<求める教員像>

本学は、学是を「仁」、即ち、人在りて我在り、他を思いやり、慈しむ心、これ即ち「仁」としています。理念は「不断前進」です。これは常に現状に満足せず、更に高い目標を目指して努力し続ける姿勢を示しています。本学の教員は、これらの「学是」・「理念」を尊び、各学部・研究科における教育目標を十分理解することが求められます。教員は常に学生に寄り添い、個々の学生の豊かな個性を伸ばすという人材育成の使命感と教育に対する情熱を持つことが求められます。教員は、自らの知識・技能を確かな教育力をもって伝授し、学生に国際的に通用する高度な研究力と確かな実践力を伝え得る、感性豊かな教員たらんことを求められます。

<教員組織の編制方針>

大学及び各学部・研究科の教育目標の達成に向けた責任ある教育・研究を行うため、大学設置基準・大学院設置基準等の法令要件を満たす専任教員の配置を基盤とします。更に大学及び各学部・研究科の目的やディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー、学生支援の方針等の各種方針に沿った教育・研究の質を保証することができる、持続的な教育・研究体制を整備します。

<教員の募集・採用・昇格方針>

教員の募集・採用・昇格に当たっては、透明性、適切性を担保しつつ、各学部・研究科の定める選考基準に則って、公正な審査・選考等を行います。

<教員の資質向上に関する方針>

質の高い教育を実践し、優れた研究成果を生むため、ファカルティ・ディベロップメント (FD) について組織的且つ継続的に取り組みます。各学部・研究科において、FD 推進委員会が中心となり、FD ワークショップの定期的開催と学生による授業評価アンケート等を行うことにより、教育方法・授業内容等の改善を常に図ります。

国際的な研究拠点に相応しい、世界をリードする学術研究環境を整備し、関係諸官庁、国内外の大学及び企業・研究所等との連携による戦略的研究基盤の形成を組織することにより、独創的・先端的な研究成果を上げ、その成果を国内外の社会へ還元していくことを目指します。

- 2) 各学部・研究科においても、それぞれ同方針を定め、同様にホームページに掲載している。
(大大評2-11 法人ホームページ 「各種方針」)
- 3) 「順天堂大学教員選考基準」を定め、役職別に教員に求める能力・資質を明示している。
(大大評6-1 順天堂大学教員選考基準)
- 4) 基礎資格としての教育歴、研究歴の期間は、教員資格毎に各学部・研究科にて定めている。研究論文は、担当学科目に合致し、かつ教員資格にふさわしいものを十分もっていることを求め、論文数は教員資格毎に各学部・研究科にて定めている。

第6章 教員・教員組織

5) 教育研究に係る重要事項の審議機関として、学部では教授会、大学院では研究科委員会がその役割を果たしている。教育研究について、学部、研究科においては、学部長、研究科長がそれぞれの運営・管理について責任を負い、最終的な意思決定は学長が行っている。

(大大評6-2 順天堂大学学部教授会運営規程)

(大大評1-13 順天堂大学大学院学則 第11節 運営組織)

以上のことから、本学は、大学の理念・目的に基づき、大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を適切に明示していると評価する。

点検評価項目②：教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。

【評価の視点】

1：大学全体及び学部・研究科等ごとの専任教員数

2：適切な教員組織編制のための措置

- ・教員組織の編成に関する方針と教員組織の整合性
- ・各学位課程の目的に即した教員配置
- ・国際性、男女比
- ・特定の範囲の年齢に偏ることのないバランスのとれた年齢構成への配慮
- ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員（教授又は准教授）の適正な配置
- ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置
- ・教員の授業担当負担への適切な配慮

3：教養教育の運営体制

1) 教員組織の編制方針に基づき、各学部・研究科における教員組織を編制し、ホームページに、所属別・役職別に一覧表にして公開している。各学部・研究科の専任教員は、大学設置基準及び大学院設置基準に定める必要教員数を上回る人員で構成されている。それぞれの教育・研究上の目的、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、学生支援の方針等に示した内容を実現できるよう、教員組織を整備している。全学的には、年齢構成も年度による極端な偏りは見られない。

(大大評1-15 法人ホームページ 「順天堂について」 「情報公開（基本情報）」)

(大学基礎データ 表5)

2) 学士課程の専門教育（必修科目）における大学全体の専兼比率は89.3%、教養教育（必修科目）における同比率は84.8%であり、主要授業科目には専任教員が適切に配置されている。

(大学基礎データ 表4)

3) 教員組織の編成において、男女比率は特別には設定していない。このため、学部・研究科によっては分野の特性から教員・学生ともに女性比率が高くなる所もある。例えば、医療看護学部は学生の多くが女子であるが、男子学生も入学することから、専任教員70名のうち男性教員を6名配置してバランスを確保している。

4) 大学院の教員の資格についても「順天堂大学教員選考基準」により明確化されており、採用・昇任等の人事選考は各研究科の選考内規に基づき行っている。例えば、大学院医学研究科の教員人事選考は医学部の各選考内規に準じて行っており、2020(令和2)年度の教員数は医科

第6章 教員・教員組織

学専攻（修士課程）において214名（教員一人当たり学生数は0.50名）、医学専攻（博士課程）において580名（教員一人当たり学生数は1.14名）である。

5)各学部に一般教育担当教員を配置しており、本学における一般教育に関することを検討・審議する組織としては、6学部一般教育担当者会議があり、定期的に会議を開催している。

以上のことから、本学は、教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制していると評価する。

点検評価項目③：教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。

【評価の視点】

- 1：教員の職位(教授、准教授、助教等)ごとの募集・採用・昇任等に関する基準及び手続の設定と規程の整備
- 2：規程に沿った教員の募集、採用、昇任等の実施

1)教員の募集・採用・昇任については、「順天堂大学教員選考基準」及び各学部・研究科における基準に基づき適切に行われている。教授職については、教授選考を対象とした人事委員会の審議を経て、学長が理事会に発議し、その承認を得ている。前任准教授以下の人事は、教員人事委員会、教授会等における審議を経て、学長が決裁している。

(大大評6-1 順天堂大学教員選考基準)

(大医6-1 順天堂大学医学部一般教育担当教授選考内規)

(大医6-2 順天堂大学医学部講座主任教授選考内規)

(大医6-3 順天堂大学医学部研究室担当教授選考内規)

(大医6-4 順天堂大学医学部前任准教授(臨床)選考内規)

(大医6-5 順天堂大学医学部講座内教授選考内規)

(大ス6-1 新昇任基準詳細)

(大ス6-2 順天堂大学スポーツ健康科学部教育職員選考内規)

(大医看6-1 医療看護学部専任教員昇格・任用基準)

(大保看6-1 看護系教員任用・昇任のための推薦基準)

(大保医6-1 保健医療学部専任教員昇格・任用基準)

(大院ス6-1 大学院研究指導教員等人事基準)

(大院看6-1 大学院医療看護学研究科担当教員資格審査基準)

2)教員の募集は、ホームページの他、JREC-IN（研究者人材データベース）で公募している。

3)大部分の教員は、学部と研究科を併任しており、募集・採用・昇任・評価等は一体運用している。

4)本学の教育研究活動の活性化にとって、多様な知識又は経験を有する教員相互の学問的交流が不断に行われる状況を創出することが重要であることに鑑み、任期を定めて雇用する教員の任期について、再任の可否や業績審査等の必要な事項を「順天堂大学教員の任期に関する規則」に定め、2016(平成28)年4月から運用している。

(大大評6-3 順天堂大学教員の任期に関する規則)

5)教員の評価は、各学部・研究科の基準に基づき、教育・研究活動、指導実績、社会活動、授業評価等によって行われている。例えば、医学部・医学研究科では、教育活動は授業評価ア

第6章 教員・教員組織

ンケートにより評価が行われ、研究活動は発表論文が掲載された雑誌のインパクト・ファクター（IF）・サイテーション・インデックス（CI）・責任著者論文数、科学研究費補助金等外部資金獲得状況等から評価されている。スポーツ健康科学部では、研究業績、教育実績、指導実績、業務経験等をポイント化して評価が行われている。

以上のことから、本学は、人事手続に関する規程を整備し、教員の募集、採用、昇任等を適切に行っていると評価する。

点検評価項目④：ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。

【評価の視点】

- | |
|---|
| 1：ファカルティ・ディベロップメント（FD）の組織的な実施
2：教員の教育活動、研究活動、社会活動等の評価とその結果の活用
3：FDにおいて、COVID-19への対応・対策を行ったか |
|---|

- 1) 各学部・研究科で毎年度FDワークショップを開催している。教職員に加え、臨床指導者、学生も参加し、教育成果の検証を行い、教育課程や教育内容・方法の改善に反映させている。
 - (大医6-6 医学教育・卒後教育ワークショップの歴史(テーマ等一覧))
 - (大ス6-3 スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科 教職員ワークショップ一覧)
 - (大医看6-2 医療看護学部教員ワークショップ実施内容)
 - (大保看6-2 保健看護学部FDワークショップの歴史)
 - (大国教6-1 FD研修会実施要領2020)
 - (大保医6-2 2020年度保健医療学部FD研修会スケジュール)
 - (大院看6-2 医療看護学研究科FD講演会実施内容)
- 2) 全学部・研究科で学生による授業評価アンケートを実施している。評価結果を担当教員にフィードバックし、授業の質の改善を促している。
 - (大医6-7 医学部授業評価アンケート用紙)
 - (大ス6-4 スポーツ健康科学部授業評価アンケート用紙)
 - (大医看6-3 医療看護学部授業評価アンケート用紙)
 - (大保看6-3 保健看護学部授業評価票用紙)
 - (大国教6-2 国際教養学部授業評価アンケート用紙)
 - (大保医6-3 授業評価アンケートフィードバック (見本))
 - (大院医6-1 大学院医学研究科 出席票・授業評価アンケート用紙)
 - (大院ス6-2 大学院スポーツ健康科学研究科授業評価アンケート用紙)
 - (大院看6-3 大学院医療看護学研究科授業評価アンケート用紙)
- 3) 各学部・研究科における教育改善・改革を進めるために公募制の「教育改善プロジェクト」を設けている。本制度により、教育（授業等）の質的向上を目指す取り組みや新たな教育プログラムの開発について予算補助を行っている。採択者は、実績報告の内容を学長が指定する次年度各学部FD研修会等（ワークショップ等）にて報告を行っている。
 - (大IR6-1 令和2年度 学長教育改善プロジェクトの募集について)
- 4) 教育の質向上を図るため、「ベストチューター賞」、「ベストプロフェッサー賞」に関する実施

第6章 教員・教員組織

要領により、各学部からの申請に基づき、大学として顕彰している。

(大総務6-1 順天堂大学「ベストチューター賞」・「ベストプロフェッサー賞」制度実施要領)

- 5) 教員の研究力向上を図るため、全学を対象とする「学長特別共同プロジェクト研究費」、各学部(含む研究科)におけるプロジェクト研究費、大学院附属の研究センター(アトピー疾患研究センター、老人性疾患病態・治療研究センター、環境医学研究所等)における各テーマに基づいたプロジェクト研究費を整備し、公募により採択者に研究費を交付している。
- 6) 科学研究費助成事業については、毎年9月には、科学研究費助成事業公募要領等説明会を開催し、申請手順、研究計画調書作成のポイント、記入ガイド、URAの活用方法等、科学研究費獲得のための方策を講じている。この結果、科学研究費助成事業の採択件数は、2019(令和元)年度、私立大学約603校中、第5位となった。また、毎年6月には、公的研究費の採択者を中心に公的研究費の適正な使用と管理に関する説明会を開催し管理運営面での資質の向上を図っている。
- 7) 教員の教育・研究活動を「研究者情報データベース」に蓄積し、定期的な更新を行い、ホームページに掲載している。教育・研究活動の状況を主体的に社会に発信し、教員の資質向上を図っている。

(大研戦2-1 大学・大学院ホームページ 「研究活動」 「研究者情報データベース」)

- 8) COVID-19への対応に関して、各学部・研究科にてオンライン授業の実施方法についてのFDを行った。例えば、スポーツ健康科学部では、新たに開始したオンライン授業の活用事例をもとに「スポーツ健康科学部とスポーツ健康科学研究科におけるオンライン授業の現状と課題」をテーマにワークショップを実施した。また、大学院医療看護学研究科では、教職員を対象として同時双方向型オンラインツール(Zoom、Google Hangouts Meet)やe-learning教材作成システム(Smart Force)等に関する講習会・説明会を実施し、遠隔授業の導入を推進した。

以上のことから、本学では、FD活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上に繋げていると評価する。

点検評価項目⑤：教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

【評価の視点】

1：適切な根拠(資料・情報)に基づく点検・評価

2：点検・評価結果に基づく改善・向上

- 1) 本学は、毎年度、大学・各学部・研究科・管理部門等の単位で、(公財)大学基準協会の大学基準に準拠し、内部質保証の推進に必要な自己点検・評価を行っている。教員・教員組織の適切性は、各学部・研究科において、それぞれ根拠資料に基づく点検・評価を行っている。点検・評価の結果、認識された課題については、当該部署を中心に改善に取り組み、次年度末までに内部質保証推進委員会委員長宛に改善状況報告書を提出することとしている。課題及び改善状況は、毎年度、自己点検・評価運営委員会及び内部質保証推進委員会で検証された後、学長に報告される。学長は更なる改善が必要な場合には、必要な指示を出すという仕組みになっている。

第6章 教員・教員組織

(大大評2-28 自己点検・評価運営委員会議事録(令和2年5月))

(大大評2-29 内部質保証推進委員会議事録(令和2年5月))

- 2) 授業科目と担当教員の適合性は、各学部・研究科における次年度の教育課程の編成に際し、授業評価アンケートの結果を踏まえ、カリキュラム委員会やカリキュラム評価委員会等で点検・評価を行い、改善策を検討している。例えば、医学部では、カリキュラムコース(Zone、Group、Unit等)終了時に学生アンケート結果、授業担当教員からの評価表、コースオーガナイザー報告書等を踏まえ、カリキュラム評価委員会で検証している。検証結果は、カリキュラム委員会・教務委員会及び医学部長へ報告され、改善策を検討している。

(大医6-8 医学部カリキュラム評価委員会議事)

- 3) 「求める教員像および教員組織の編成方針」を定めているが、その方針自体も教育内容の充実にあわせて、見直しを行っていく必要があると考えており、定期的な点検を行っている。

(大大評6-4 3つのポリシー(DP・CP・AP)、求める教員像及び教員組織の編成方針改正要否の検討について)

(2) 長所・特色

- 1) 各学部・研究科において、大規模なFDワークショップを開催し、毎年度教育内容・方法の改善を図っている。例えば、医学部では毎年度医学教育ワークショップを開催している。そこには教員だけでなく学生や卒業生も参加し、多面的な視点から、本学の医学教育の現状確認や方向性について討議が行われている。討議された検討課題の対応策については、教員と学生双方の共通認識が持たれるとともに、教員のFDとして機能している。

今後も、大規模なFDワークショップを継続して開催し、更なる教育内容・方法の改善を図るとともに、教員の資質向上に努める。

- 2) 看護臨地実習にあたり、医療看護学部・保健看護学部では、臨地実習指導者研修会を開催し、実習病院との協力・連携体制を構築している。

今後も、毎年度継続して開催し、実習評価や学生の意見も参考にしながら、更なる充実を図る。

- 3) 教員の資質向上のための取り組みとして、「ベストチューター賞」、「ベストプロフェッサー賞」を設定し、大学としての顕彰制度を準備している。

今後も、教育実践に顕著な成果をあげた教員に対する顕彰制度を継続し、教員の意欲向上を図り、大学教育を活性化させる。

(大総務6-1 順天堂大学「ベストチューター賞」・「ベストプロフェッサー賞」制度実施要領)

(3) 問題点

- 1) 本学では、授業評価アンケートは各学部・研究科ごとに毎回の授業の後に行っているが、質問項目数が少ないことから、教員評価の指標として活用するには、アンケート内容の充実を図ることが必要である。また、質問内容も学部・研究科ごとに異なることから、全学的に結果を集計して分析することができていない。そこで、授業評価アンケートの在り方を見直すこととした。

授業毎の授業評価アンケート項目については、精査して全学部・研究科で共通とすることや、

第6章 教員・教員組織

教員評価の指標として活用できるように授業科目終了時のアンケートの新設を検討したい。授業科目終了時のアンケート結果は、情報戦略・IR推進室で全学的に集計・分析して各学部・研究科にフィードバックする仕組みを構築する。2021(令和3)年度中に準備を進め、2022(令和4)年度より実施の予定である。

- 2) 教員のFDに関しては、各学部・研究科ごとにFD推進委員会もしくはFD推進室が中心となって活動を推進している。現在は学部・研究科単位の大規模なFDが中心だが、今後はテーマ別の小規模なFDも推進していきたい。

(4) 全体まとめ

大学、各学部・研究科において、「求める教員像および教員組織の編制方針」を定め、ホームページに公表している。また、「順天堂大学教員選考基準」を定め、教員に求める能力・資質を明示している。教員の募集・採用・昇格については、同基準及び各学部・研究科における基準に基づき、運用している。各学部・研究科の教育目標を実現できるよう、教員組織を編制しており、FD活動をはじめとする各種の取り組みを通して、教員の資質向上も図っている。法令要件や持続的な教育・研究体制は、毎年度実施している自己点検・評価において、大学設置基準(専任教員数)・大学院設置基準(研究指導教員数等)の充足状況、専任教員との学生数の比、年齢構成等について点検し、水準を十分に満たしていることを確認している。授業科目と担当教員の適合性は、各学部・研究科における次年度の教育課程の編成に際し、授業評価アンケートの結果を踏まえ、カリキュラム委員やカリキュラム評価委員会等で点検を行い、改善策を検討している。

第6章 教員・教員組織

(5) 根拠資料

資料No.	各部署の資料整理No.	資料名称
1	大大評2-11	法人ホームページ 「各種方針」 https://www.juntendo.ac.jp/corp/about/policy.html
2	大大評6-1	順天堂大学教員選考基準
3	大大評6-2	順天堂大学学部教授会運営規程
4	大大評1-13	順天堂大学大学院学則
5	大大評1-15	法人ホームページ 「順天堂について」 「情報公開（基本情報）」 https://www.juntendo.ac.jp/corp/about/information.html
6	大医6-1	順天堂大学医学部一般教育担当教授選考内規
7	大医6-2	順天堂大学医学部講座主任教授選考内規
8	大医6-3	順天堂大学医学部研究室担当教授選考内規
9	大医6-4	順天堂大学医学部先任准教授(臨床)選考内規
10	大医6-5	順天堂大学医学部講座内教授選考内規
11	大ス6-1	新昇任基準詳細
12	大ス6-2	順天堂大学スポーツ健康科学部教育職員選考内規
13	大医看6-1	医療看護学部専任教員昇格・任用基準
14	大保看6-1	看護系教員任用・昇任のための推薦基準
15	大保医6-1	保健医療学部専任教員昇格・任用基準
16	大院ス6-1	大学院研究指導教員等人事基準
17	大院看6-1	大学院医療看護学研究科担当教員資格審査基準
18	大大評6-3	順天堂大学教員の任期に関する規則
19	大医6-6	医学教育・卒後教育ワークショップの歴史（テーマ等一覧）
20	大ス6-3	スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科 教職員ワークショップ一覧
21	大医看6-2	医療看護学部教員ワークショップ実施内容
22	大保看6-2	保健看護学部FDワークショップの歴史
23	大国教6-1	FD研修会実施要領2020
24	大保医6-2	2020年度保健医療学部FD研修会スケジュール
25	大院看6-2	医療看護学研究科FD講演会実施内容
26	大医6-7	医学部授業評価アンケート用紙
27	大ス6-4	スポーツ健康科学部授業評価アンケート用紙
28	大医看6-3	医療看護学部授業評価アンケート用紙
29	大保看6-3	保健看護学部授業評価票用紙
30	大国教6-2	国際教養学部授業評価アンケート用紙
31	大保医6-3	授業評価アンケートフィードバック（見本）
32	大院医6-1	大学院医学研究科 出席票・授業評価アンケート用紙
33	大院ス6-2	大学院スポーツ健康科学研究科授業評価アンケート用紙
34	大院看6-3	大学院医療看護学研究科授業評価アンケート用紙

第6章 教員・教員組織

資料 No.	各部署の 資料整理No.	資料名称
35	大IR6-1	令和2年度 学長教育改善プロジェクトの募集について
36	大総務6-1	順天堂大学「ベストチューター賞」・「ベストプロフェッサー賞」制度実施要領
37	大研戦2-1	大学・大学院ホームページ 「研究活動」 「研究者情報データベース」 https://www.juntendo.ac.jp/graduate/kenkyudb/
38	大大評2-28	自己点検・評価運営委員会議事録（令和2年5月）
39	大大評2-29	内部質保証推進委員会議事録（令和2年5月）
40	大医6-8	医学部カリキュラム評価委員会議事
41	大大評6-4	3つのポリシー(DP・CP・AP)、求める教員像及び教員組織の編成方針改正要否の 検討について